

履歴書

東京市東区本町七丁目
東京府士族

長光川辰三郎

文久二年十月八日生

- 一 明治十四年四月七日、舊東京外國語学校へ入学
 英語学部給費生となる
- 一 十八年三月一日、学業成績優等を以て、同月同日後
 給費給費生となる
- 一 同八月一日同上、但し向う七月
- 一 同九月廿三日、舊東京外國語学校へ東京商業

学校へ合併して、東京商業学校へ英語学部立
 年生となる

- 一 十九年一月十九日、依り退学を許す

備考一 舊東京外國語学校を卒業後、経済科
 へ進学して、尾崎少将、的井重秋、河上澄一等、
 氏、物々経済学及財政学ヲ修ムルコトアリ、
 邦友に等置せし、経済学講習会生トあり、
 トアリ

- 一 未だ及第考述世業に従ふ、(何處)に以て、
 英國の教師ガシ

備考二 明治十三年、イーストレーキ学校に於て、
 英語学ヲ修ムルコトアリ、
 備考三 明治十八年、八月十九日、内閣友報に於て、
 但し、経済学、物々、英語学ヲ修ムルコトアリ、
 主任トあり

研究スル所、
 英語学、
 経済学、
 財政学、
 物々、
 邦友、
 講習会、
 主任

二月侍、家印を給因、廿四年七月に侍るを給由、
廿二年三月に侍るを給因給与せし

一 廿六年正月十日、制以事、法果内閣、
七、四級侍り給とせん、但し内閣及振易勤勞故、

一 廿八年六月三日、三級侍下給、廿九年七月、
備考 廿八年に侍るを給因給与せし、
後外、
廿九年七月、
備考 廿九年に侍るを給因給与せし、
廿九年七月、
備考 廿九年に侍るを給因給与せし、

一 廿九年七月、
備考 廿九年に侍るを給因給与せし、
廿九年七月、
備考 廿九年に侍るを給因給与せし、

一 廿九年七月、
備考 廿九年に侍るを給因給与せし、
廿九年七月、
備考 廿九年に侍るを給因給与せし、

大之通、
之通、
之通、
之通、

明治廿二年三月十一日

大 長石川 辰三郎